

9月末学費滞納経済的理由による中退調査結果 新聞報道 その3

38号に掲載した「デジタル朝日新聞（12/4）」の記事が、同日の夕刊に掲載されました。

高校学費 コロナで滞納71人

私学調査 働かざるをえず中退も

国内の私立高校で今年度
に3カ月以上、学費を滞納
した生徒は9月末時点で1
407人で、過去最少だっ
たことが全国私立学校教職
員組合連合が公表した調査
結果で判明した。4月に国
が支援を拡充した効果とみ
られる。一方、コロナ禍の
影響で学費を滞納した生徒
は71人で、中退を余儀なく
されたケースもあった。

調査では31都道府県の私
立高333校から回答があ
り、在籍生徒は計26万98
52人。すべての私立高生
の26・7％にあたる。

学費を3カ月以上、滞納
した生徒の割合は回答総数
の0・52％で、昨年同期比
マイナス0・35ポイントなり過
去最少。経済的理由で中退
した生徒は13人で、199

8年度の調査開始以降で最
も少なかった。

一方、コロナ禍の影響で
学費滞納にまで至らなくて
も、窮状を訴える声が、ひ
とり親や自営業の世帯を中
心に上がった。母親の収入
減により働かざるをえなく
なり中退した生徒（大阪）
や、家計を支えようと無断
でアルバイトをしていた生
徒（岩手）もいた。

◇ 子どもの支援団体「セー
ブ・ザ・チルドレン・ジャパ
ン」は今秋、高校生がいる東
京都内のひとり親世帯に3
万円を給付する事業を行っ
た。受給した355世帯の
うち約3割が、コロナによ
る経済的な理由で高校就学
を続けられなくなる可能性
があると答えた。（鎌田悠）